



# 大地

(じねんじょ通信)

発行者：社会福祉法人じねんじょ  
 発行日：平成24年9月1日  
 TEL：083-252-2227  
 FAX：083-252-2259  
 E-mail jinenjo@jinenjo.or.jp  
<http://www.jinenjo.or.jp>



## 映画「普通に生きる」上映会を終えて

社会福祉法人じねんじょ  
 理事長 金原洋治

7月22日、じねんじょ公開フォーラムを開催しました。今年は、静岡県富士市・富士宮市にある重症心身障害者の通所施設「でらーと・らぼーと」の活動を描いた「普通に生きる」という映画の上映会を行い、じねんじょの活動紹介のDVDも同時に上映しました。おかげさまで沢山の市民の皆様にご来会いただき大変好評でした。じねんじょの職員も、ご家族も大きな勇気と希望を貰ったと思います。

「でらーと」と「らぼーと」は、社会福祉法人「インクルふじ」が運営しています。「どんなに重い障害があっても、本人もその家族も、地域の中で普通に暮らしていける社会をめざす」という理念のもとに親達の努力でゼロから立ち上げた重症心身障害児者のための施設です。じねんじょとは共通点が沢山あります。理念や親が中心になって運動を進めてできた施設というところも似ていますし開所の年も同じです。「でらーと」がある富士市の人口は25万人ということも下関と同規模です。じねんじょより一歩前に進んでいることは、すでに、ショートステイやケアホームを立ち上げたところですので、取り組みや運営方法などをリサーチし今後の参考にさせていただこうと思っています。

この映画の上映会を企画したのにはいくつかの思いがあります。1)市民の皆様がこの映画を通じて重い障害がある人たちが地域で生きることを感じていただくこと、2)開設当時のことをご存じない保護者の方にも、先輩の親ごさんたちのご苦労や思いを感じていただくこと、3)職員も自分たちが取り組んでいることの意味を再確認することでしたが、企画の趣旨はかなり達成できたと思っています。

じねんじょも、来年で開設10周年を迎えます。建設の原動力になった保護者の方も子ども達も10歳年をとりましたが、年々新しいメンバーさんのご利用も増えてきています。職員も開設当初とかなり交替しています。「でらーと・らぼーと」の取り組みは、次の10年に向けて、私たちの道標になったと思います。

今後とも、重い障害がある人たちやご家族が、「普通に生きる」ことができる社会の実現を目指して取り組みを続けたいと思います。

ご協力ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

今年も開催します！！ 『じねんじょフェスティバル』

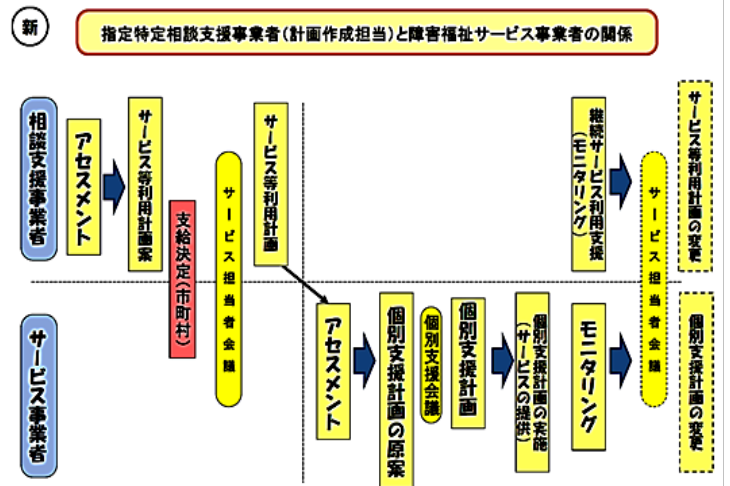
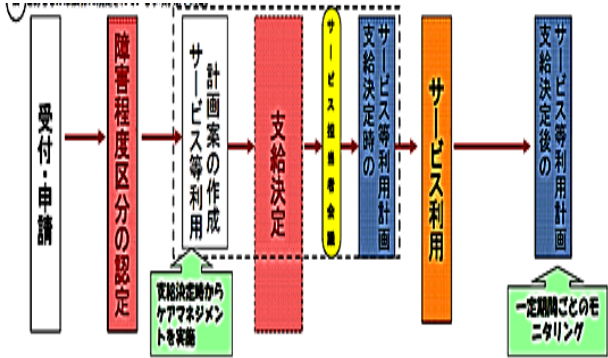
平成24年10月14日(日) じねんじょフェスティバルを開催します。

今年も、地域の皆様とともに楽しい時間がもてるようなイベントを企画していきたいと思ひます。ぜひ、皆様そろって遊びにお越しください。

## サービス等利用計画について

障害者自立支援法の改正（つなぎ法）により平成24年度から障害福祉サービスの支給決定にあたり、「特定相談支援事業者」（指定障害児相談支援事業者）にサービス等利用計画案の作成を依頼し、市に提出するようになりました。（段階的に対象を拡大し概ね3年間で全ての対象者について実施するとされます。）障害者の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、置かれている状況や環境を調整し、福祉、医療、教育、就労、住居などのさまざまな視点から、本人自身が地域で自立した生活を送れるようにサービス等利用計画案が作成されるものです。

### 【支給決定プロセス】



：平成23年10月31日厚生労働省障害保健福祉関係主管課長会議等資料

## ヘルパーステーション ふわり のつづやキ

事業開始から5か月・・・

皆さんの生活の中に“ふわり”はお役にたっているでしょうか？

自宅での入浴、食事、お買い物・・・お宅にお伺いし、じねんじょでは見たこともない笑顔を見せられた時、ヘルパーの心は満たされます。

メンバーが家庭やじねんじょから飛び出し地域の中で「わくわく、ドキドキ」できる時間を感じてほしいとお出かけもしています。

プール・海峡ドラマシップ・鉄道記念館・ロンドンバス城下町散策同窓会・外食 etc

その中で、困ったときに手をさし伸べてくださる地域の方が増えてきていることも実感しています。こうして地域力がUPしていくのかなあ～

まだまだ、使いづらい“ふわり”ですが、立ち上がった困難をチャンスと捉え、どんどんネットワークを広げフットワークの軽い“ふわり”になりたいと思っています。これからも応援よろしくお願いします。



## ヘルパーステーションふわり とは



“重い障害があっても住み慣れた地域で暮らしたい”の実現のために数年にわたるアンケート調査の結果やお困り感、夢・・・「あったらいいよね」を現実にしたのが“ふわり”です。自宅でのご家族の介護軽減はもちろんのこと、メンバーが地域の一人として社会参加し、多くの経験の中から自ら選択し決定する。そこからもっと笑顔が増え、その笑顔“はたらき”として地域に伝えていきたいと考えています。

# わんぱくフェスタ



むくっこ、運動会!

おじいちゃん・おばあちゃんも参加してくださいました

4年に1度??じねんじょオリンピック  
みんながメダルをもらいました



じねんじょオリンピック

# 交流ボッチャ大会

王司山田園で

ボッチャの交流試合をしました!!

じねんじょのみなさん  
ようこそ王司山田園へ



馬関まつり

# ボランティアのみなさん

環境みらい館の出張講座  
紙すき体験



白石さん エアロビクス



梅こぶ茶さん うたリズム遊び



ぶくぶくポケットさん 人形劇



下関市立大学シンキングサークル  
演奏会



池内さん マジックショー



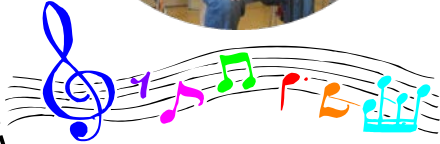
# じねんじょの輪

## ウクレレ演奏オニオンズさんと 鬼塚けいすけさん



私はウクレレを弾きながら、年間40回くらい、訪問演奏やライブをやっていますが、じねんじょ様のスタッフやお母様方、そしてお子さんたちが、1番の笑顔で暖かく迎えてくれます。

感謝しています。これからも呼んでいただけたら嬉しいです。  
ウクレレおにちゃん、でした。



赤い羽根共同募金からの助成により新しい車輛がきました。皆さまからの善意の募金を配分していただき、ありがとうございます。重症心身障害児(者)の送迎や活動などに利用したいと思います。



### 寄付者氏名(敬称略、順不同)

(H24.4.1~H24.8.31)

- やまぐち小児科
- さをり織サークル
- もみの木薬局
- れんげ畑
- 花笑みの会
- 陶芸サロンじねんじょ窯
- 落合商会(空気清浄機 寄贈)

たくさんのご寄附をいただきました。ありがとうございました。

### 平成24年度 9月以降の行事予定

- 10月14日 じねんじょフェスティバル
- 11月11日 下関市障害者交流卓球大会
- 12月中旬 手をつなぐみんなの福祉フェスタ
- 平成25年
- 1月10日 成人を祝う会
- 3月中旬 もちつき



### <編集後記>

じねんじょ公開フォーラムを通して、「普通に生きる」ことについていろいろと考えた夏でした。皆様からの支援に支えられて、じねんじょメンバーも楽しく夏を過ごす事ができました。

暑い暑いと言いながらも、空は心なしか秋の気配。夏の疲れを引きずらないように、リズムを整えながら元気に過ごしたいと思います。